

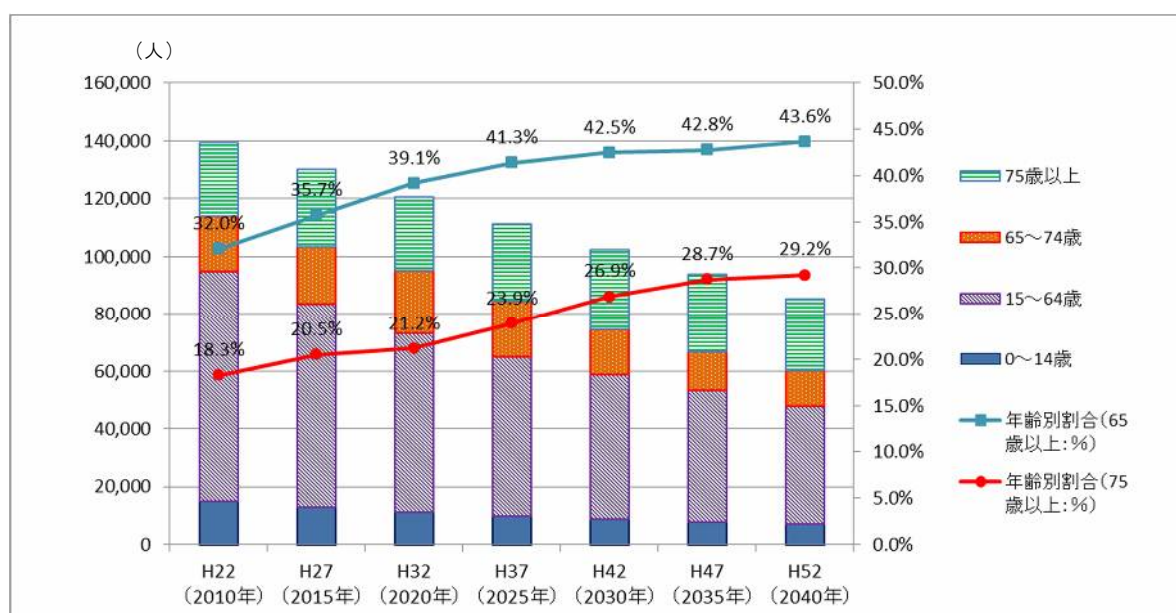
第6節 大仙・仙北地域医療構想

1 人口及び人口動態の状況

(1) 人口

- 大仙・仙北地域の総人口は、平成22(2010)年国勢調査時の139,543人から徐々に減少しており、平成37(2025)年には111,415人、平成52(2040)年には85,463人になると予想されています。(図1、表1)
- 65歳以上の高齢者人口については、平成32(2020)年まで増加を続けますが、その後減少していきます。また、総人口に占める割合は増大を続け、平成52(2040)年には43.6%になります。
- 75歳以上の後期高齢者人口については、平成42(2030)年には27,506人まで増加し、その後減少に転じるものの、総人口に占める割合は増大を続け、平成52年には29.2%になります。
- 14歳以下の若年人口割合は、平成22(2010)年には10.6%ですが、平成37(2025)年には8.1%に、平成52年(2040年)には7.5%まで減少します。
- 15歳から64歳までの生産年齢人口割合は、平成22(2010)年には55.8%ですが、平成37(2025)年には47.9%に、平成52(2040)年には44.4%まで減少します。

図1 大仙・仙北地域における人口及び高齢化率の推移



出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月)」

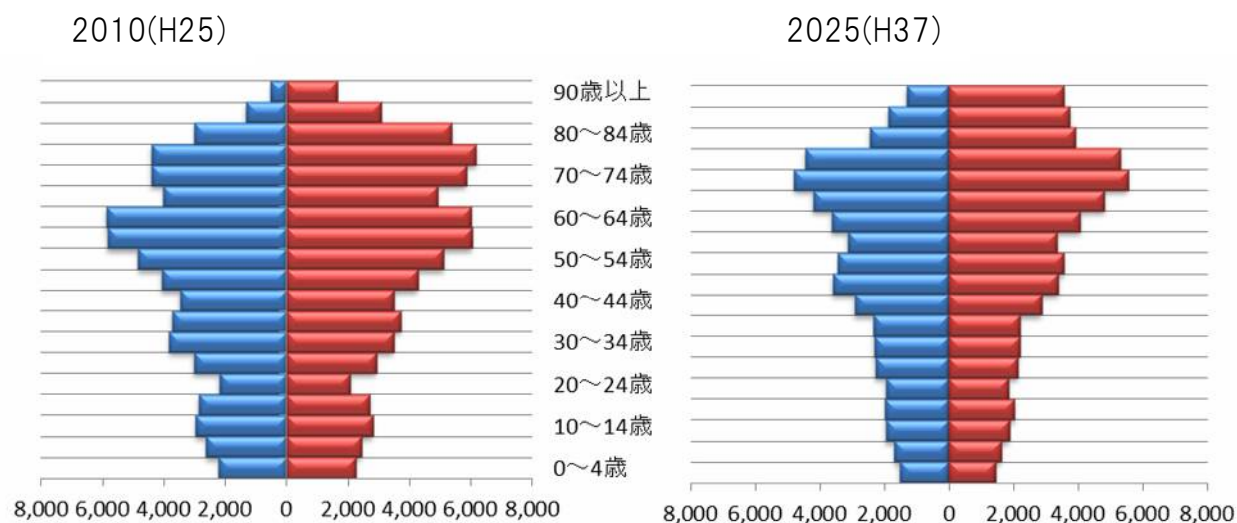
表1 大仙・仙北地域における人口の推移

(単位：人)

	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)	平成47年 (2035)	平成52年 (2040)
総人口	139,543	130,142	120,803	111,415	102,349	93,813	85,463
14歳以下	15,291	13,349	11,610	10,105	8,923	8,058	7,357
割合	11.0%	10.3%	9.6%	9.1%	8.7%	8.6%	8.6%
15～64歳	79,553	70,357	61,900	55,262	49,956	45,647	40,807
割合	57.0%	54.1%	51.2%	49.6%	48.8%	48.7%	47.7%
65歳以上	44,699	46,436	47,293	46,048	43,470	40,108	37,299
割合	32.0%	35.7%	39.1%	41.3%	42.5%	42.8%	43.6%
75歳以上	25,563	26,676	25,585	26,655	27,506	26,933	24,988
割合	18.3%	20.5%	21.2%	23.9%	26.9%	28.7%	29.2%

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月）」

図2 大仙・仙北地域における人口ピラミッド



出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月）」

(2) 人口動態

- 大仙・仙北地域における平成 25（2013）年の出生数は 744 人、出生率（人口千対）は 5.6 で、秋田県全体の 5.9 を下回っています。（表 2）
- 平成 25（2013）年の死亡数は 2,144 人、死亡率（人口千対）は 16.0 で秋田県全体の 14.2 を上回っています。（表 2）
- 平成 25（2013）年の自然増減数はマイナス 1,400 人、自然増減率（人口千対）はマイナス 10.4 で人口減少が進んでいます。（表 2）
- 平成 25（2013）年の死因別死亡では、人口 10 万人当たりの死亡率の高い順に、悪性新生物（416.4）、心疾患（261.2）、脳血管疾患（158.9）となっています。（表 3）

表 2 大仙・仙北地域における人口動態

（単位：人）

	H5 (1993)	H10 (1998)	H15 (2003)	H20 (2008)	H25 (2013)	秋田県 (H25)
人 口	162,492	158,308	152,140	143,097	134,010	1,050,132
出 生 数	1,307	1,092	977	884	744	6,177
出 生 率	8.0	6.9	6.4	6.2	5.6	5.9
死 亡 数	1,580	1,622	1,847	1,950	2,144	14,824
死 亡 率	9.7	10.2	12.1	13.6	16.0	14.2
自然増減数	▲273	▲530	▲870	▲1,066	▲1,400	▲8,647
自然増減率	▲1.7	▲3.3	▲5.7	▲7.4	▲10.4	▲8.3

出典：秋田県衛生統計年鑑

※人口は各年 10 月 1 日現在。出生率、死亡率及び自然増減率は人口千対

表 3 大仙・仙北地域における三大疾病別の死亡数及び死亡率

（単位：人）

		H5 (1993)	H10 (1998)	H15 (2003)	H20 (2008)	H25 (2013)	秋田県 (H25)
悪性新生物	死亡数	392	464	517	524	558	4,113
	死亡率	241.2	293.1	339.8	366.2	416.4	392.8
脳血管疾患	死亡数	288	329	319	240	213	1,704
	死亡率	177.2	207.8	209.7	167.7	158.9	162.8
心 疾 患	死亡数	324	227	276	325	350	2,172
	死亡率	199.4	143.4	181.4	227.1	261.2	207.4

出典：秋田県衛生統計年鑑

※死亡率は人口 10 万対

2 医療提供体制の現状と課題

(1) 医療施設等の状況

- 平成 28 (2016) 年 4 月現在、大仙・仙北地域の病院は 8 施設あり、救急告示病院が 3 施設、精神科救急指定病院（全県拠点）が 1 施設、精神科病院が 2 施設です。（図 3）
- 回復期リハビリテーション病棟を有する病院は 1 施設 50 床あり、地域包括ケア病棟を有する病院は 2 施設 142 床あります。（図 3）
- 厚生労働省の病院報告によると、平成 26 (2014) 年における病院の一般病床の利用率は 84.2%、療養病床の利用率は 92.0%となっています。
（秋田県：一般病床 75.1%、療養病床 93.4%）
- 一般診療所は 96 施設あり、特別養護老人ホーム医務室等を除いた一般的な外来診療を行う施設は 72 施設あります。
- 有床診療所は 8 施設あり、病床数は 77 床あります。
- 分娩を担う病院は 2 施設、診療所は 2 施設あります。

図 3 大仙・仙北地域における病院位置図及び病床数

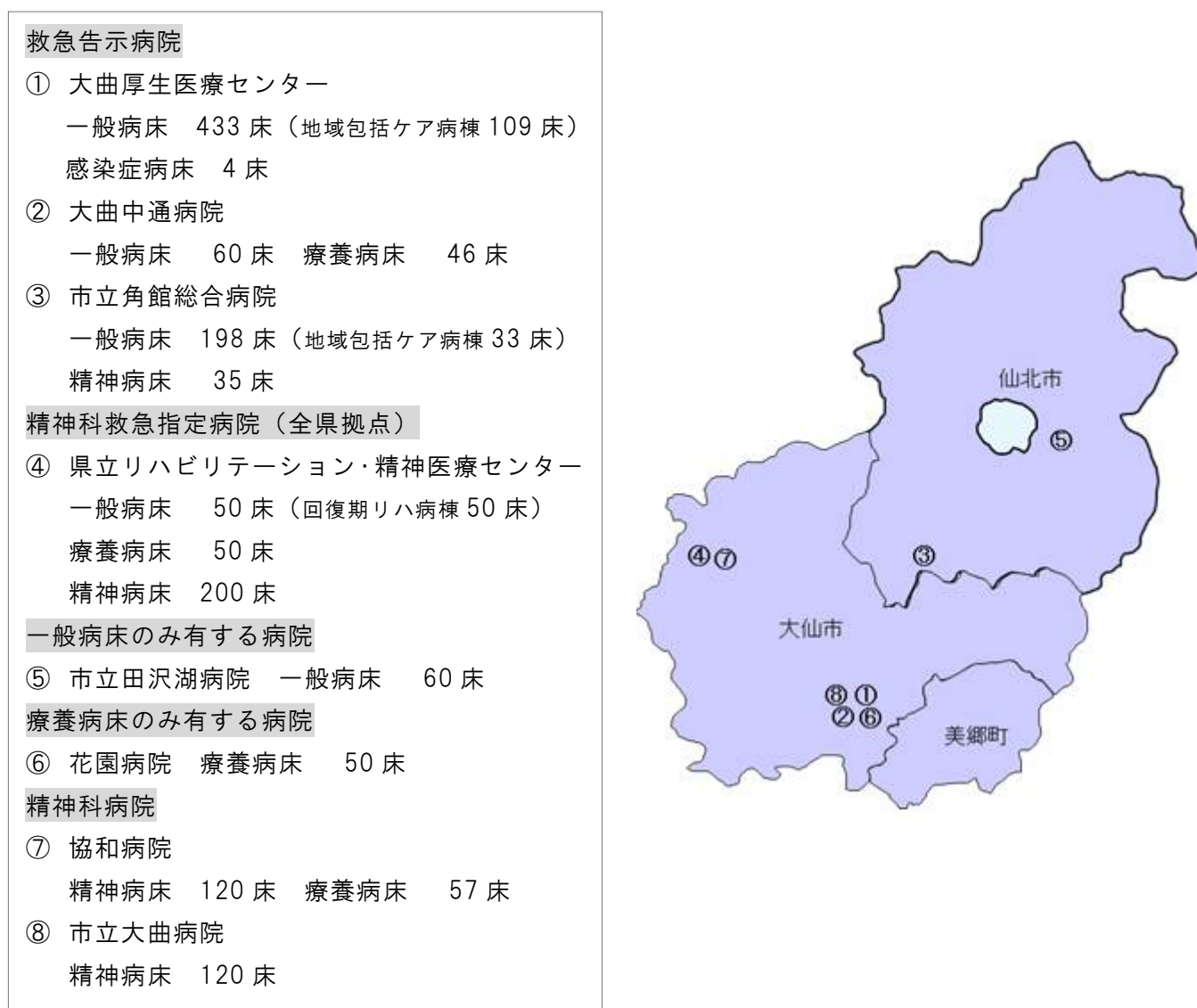


表 4 大仙・仙北地域における病院・診療所・薬局数の推移

	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)
病 院	8	8	8	8	8
一般診療所	99	100	100	99	96
歯科診療所	55	55	56	56	57
薬 局	69	68	75	77	76

出典：秋田県仙北地域振興局福祉環境部業務概要（各年 4 月 1 日現在）

【課題】

- 高度急性期から急性期、回復期、慢性期に到るまで切れ目のない医療の提供と、在宅での医療・介護の連携促進が望まれます。
- 急性心筋梗塞について、地域内に心臓血管外科医がおらず、秋田周辺・横手地域への受療が多く見受けられることから、地域内での医療を提供する体制整備が望まれます。
- 急性期を経過した患者に対し、在宅復帰に向けた医療又はリハビリテーション等回復期を担う病床の拡充が望まれます。

(2) 在宅医療等に関する施設等の状況

- 平成 28（2016）年 4 月現在、大仙・仙北地域に「在宅療養支援病院」はなく、「在宅療養支援診療所」は 6 施設、「在宅療養支援歯科診療所」は 3 施設あります。
- 厚生労働省の医療施設調査によると、平成 26（2014）年 10 月 1 日現在で、往診を実施している病院は 2 施設、診療所は 26 施設あり、在宅患者への訪問診療を実施している病院は 4 施設、診療所は 24 施設となっています。
- 訪問看護ステーションは 7 事業所あり、大仙市 4 施設、仙北市 1 施設、美郷町 2 施設となっています。

表 5 大仙・仙北地域における往診等の実施状況

	往 診		在宅患者 訪問診療		歯 科 訪問診療		在 宅 看取り	
	施設数	実施 件数	施設数	実施 件数	施設数	実施 件数	施設数	実施 件数
病 院	2	3	4	82	-	-	-	-
診療所	26	186	24	576	-	-	5	6

出典：医療施設調査（平成 26 年 10 月）

※ 「実施件数」は平成 26 年 9 月中の実績

表 6 大仙・仙北地域における入所介護施設及び介護事業所数

	施設・事業所数	定員(人)		施設・事業所数	定員(人)
介護療養型医療施設	0	0	小規模多機能型居宅介護事業所	13	—
介護老人福祉施設	18	1,050	認知症対応型共同生活介護事業所	36	—
介護老人保健施設	7	674	訪問看護ステーション	7	—
軽費老人ホーム	6	90	訪問介護事業所	31	—
養護老人ホーム	1	75	通所介護事業所	55	—
短期入所生活介護事業所	40	767	居宅介護支援事業所	45	—

出典：秋田県仙北地域振興局福祉環境部業務概要（平成 28 年 4 月 1 日現在）

【課題】

- 在宅医療（往診・訪問診療）を実施する医療機関や在宅療養支援診療所数及び在宅療養支援歯科診療所数、在宅療養支援病院の増加が望まれます。
- 急性期からの回復や患者の在宅復帰支援等を行う回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟の拡充が求められています。
- 地域住民に対して在宅医療・介護サービスや、在宅医療・ケアに関する知識について、十分に周知する必要があります。
- 在宅医療を推進するため、医療・介護・福祉の関係職種や、市町も含めた広域的な連携を強化することが望まれます。
- 訪問看護ステーションの地域内の偏在化について、施設の増加や地域全体の横断的な活動体制の工夫が求められています。
- 訪問看護ステーションについて、医療・介護関係者や地域住民にそのサービスの内容や利点等について周知する必要があります。

（3）医療従事者の状況

- 平成 26（2014）年末における大仙・仙北地域の医師のうち、医療施設の従事者は 196 人です。人口 10 万人当たりでは 148.3 人で県全体の 219.2 人を下回っています。（表 7）
- 歯科医師においては、医療施設の従事者は 49 人です。人口 10 万人当たりでは 37.0 人で県全体の 59.6 人を下回っています。（表 7）
- 薬剤師においては、薬局及び医療施設の従事者は 200 人です。人口 10 万人当たりでは、151.4 人で県全体の 164.8 人を下回っています。
- 看護師は 1,119 人です。人口 10 万人当たりでは、847.1 人で県全体の 1,006.2 人を下回っています。（表 7）
- 歯科衛生士は 111 人です。人口 10 万人当たりでは、84.0 人で県全体の 89.4 人を下回っています。（表 7）
- 厚生労働省の病院報告によると、平成 26（2014）年 10 月現在、病院に従事する理学療法士は 49 人、作業療法士は 49.7 人、視能訓練士は 2 人、言語聴覚士は 9 人となっています。（表 7）

表 7 大仙・仙北地域における医療従事者の推移 (単位：人)

	H22(2010)	H24(2012)	H26(2014)	秋田県(H26)
医師	206 (147.4)	194 (142.8)	207 (156.7)	2,355 (227.1)
病院	114 (81.6)	105 (77.3)	115 (87.1)	1,555 (149.9)
診療所	84 (60.1)	82 (60.3)	81 (61.3)	688 (66.3)
歯科医師	73 (52.2)	73 (53.1)	75 (56.8)	621 (59.9)
病院	3 (2.1)	2 (1.5)	3 (2.3)	29 (2.8)
診療所	69 (49.4)	69 (50.8)	70 (53.0)	581 (56.0)
薬剤師	199 (142.4)	196 (144.2)	211 (159.7)	1,961 (189.1)
薬局	151 (108.0)	152 (111.9)	163 (123.4)	1,320 (127.3)
病院・ 診療所	37 (26.5)	34 (25.0)	37 (28.0)	367 (35.4)
看護師	1,052 (753.8)	1,081 (795.4)	1,119 (847.1)	10,435 (1,006.2)
准看護師	391 (28.0)	395 (290.6)	375 (283.8)	3,379 (325.8)
助産師	31 (22.2)	36 (26.4)	32 (24.2)	328 (31.6)
歯科衛生士	102 (73.0)	84 (61.8)	111 (84.0)	927 (89.4)

出典：秋田県衛生統計年鑑（各年 12 月 31 日現在）

※（ ）内は人口 10 万対

【課題】

- 診療所医師は一人で診療を行っている施設が多く、外来診療以外の業務も複数抱えており、その負担の軽減が課題となっています。
- 仙北市は広大な面積のため訪問診療や往診に負担が大きいことから、在宅医療を担う医師の確保が課題となっています
- 看護師、准看護師は在宅医療の推進に伴って、訪問看護や介護保険施設への従事など需要が高まっています。

3 将来の医療需要と病床数の推計

(1) 各病床機能の医療需要と推計される病床数

- 平成 37(2025)年の本地域の患者受療動向はおおむね平成 25(2013)年と同じような動向になることが見込まれます。
- 平成 37(2025)年に必要と推計される病床数と病床機能報告による病床数を比較すると、高度急性期及び回復期の病床が不足し、急性期及び慢性期病床が過剰となるが見込まれます。(表 8)

表 8 大仙・仙北地域の平成 37 年に必要と推計される病床数

医療機能	平成 37 (2025)年			【参考】平成 27 年度 病床機能報告	
	医療需要 (人/日)	必要と推計される病床数		病床数(床)	構成比
		病床数(床)	構成比		
高度急性期	49	65	7.7%	0	0.0%
急性期	240	308	36.4%	605	57.1%
回復期	225	250	29.5%	192	18.1%
慢性期	206	224	26.4%	263	24.8%
計	720	847	100.0%	1,060	100.0%

出典：厚生労働省「必要病床数等推計ツール」「病床機能報告」

(2) 在宅医療等の医療需要

- 平成 25(2013)年度と平成 37(2025)年を比較すると在宅医療等の医療需要は 6.8 人増加すると推計されます。(表 9)

表 9 大仙・仙北地域の慢性期及び在宅医療等の医療需要

医療機能	平成 25 年度の医療需要 (人/日)	平成 37 年の医療需要 (人/日)
慢性期	215	206
在宅医療等	1,577	1,584
(再掲)うち訪問診療分	709	715

出典：厚生労働省「必要病床数等推計ツール」

※在宅医療等とは、居宅のほか、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホーム、介護老人保健施設、その他医療を受ける者が療養生活を営むことができる場所であって、現在の病院・診療所以外の場所において提供される医療を指します。

4 目指すべき方向性及び実現のための施策

(1) 医療機能の分化・連携

- 現在の医療機能の充実を基本としながら、不足する機能については他の区域との連携を図り、将来の医療需要に対応したバランスのとれた医療機能を持つ体制を目指します。特に、将来不足すると見込まれる回復期機能の強化を促進します。
- がんについては、がん診療連携拠点病院⁵の大曲厚生医療センターが中心となり、地域におけるがん診療体制の強化を図ります。
- 急性心筋梗塞の急性期医療については、秋田周辺地域・横手地域と連携した専門治療を行う体制の構築に努めます。
- 脳卒中については、地域連携クリティカルパス¹⁸の活用等により、急性期から回復期、維持期までの医療機関等による切れ目のない地域医療連携体制を維持します。

(2) 在宅医療の推進と関係機関との連携

- 在宅療養支援診療所数及び在宅療養支援歯科診療所数の増加や在宅療養支援病院の確保について協議を進めます。
- 在宅医療を行う医療関係者が相互連携し、チームにより訪問診療を行うことができるようなネットワークの構築について、協議を進めます。
- 多職種連携を強化し、「顔の見える関係づくり」を進めながら、大曲仙北医師会、大曲仙北歯科医師会等と市町を中心とした、医療・介護・福祉の連携体制を推進します。
- 関係職種の在宅医療への関与を促進するほか、在宅医療に従事する医療・介護従事者の専門的知識・技術等の向上のための取組みを推進します。
- 訪問看護の活用について、患者・家族への普及啓発や医療・介護関係職種への理解を進めた上で、機能拡充等について協議を進めます。
- 行政、医師会、歯科医師会、各医療機関・介護サービス事業所等は、在宅医療・介護に関する情報について、患者・家族や医療関係者に対し適切に提供し、理解を進めます。

(3) 医療従事者の確保

- 在宅医療等の推進に伴う将来ニーズにも対応できるよう、地域で必要な医療機能を担う人材資源の充実を目指します。
- 在宅医療を推進するため、主治医・副主治医制やかかりつけ医、かかりつけ歯科医を中心とした薬剤師、看護師、ケアマネージャーなど多職種協働による在宅ケアシステムについて協議を進めます。
- 仙北市については、病院等の訪問診療や往診の実施について協議を進めます。

